

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第111号

発行日 2011年2月1日発行

1月12日、28日 厳寒 北京 大連

こんにちは、近藤です。今年の冬はよく雪が降りますね。北陸の冬らしいと言えはいいでしょうか。

さて、1月12日から4日間北京へ、28日には1泊2日の強行日程で大連へ行ってきました。どちらも厳寒、外を歩くと顔や耳が痛くなります。

2010年、中国の自動車生産・販売台数はともに1800万台を超え、2年連続して世界一となりました。ともに30%以上という驚異的な増加率です。これは近い将来には確実に廃車大国となることであり、それだけに、中央・地方政府の「循環型経済」構築の動きもスピードアップしているようです。

中国では自動車リサイクル事業を行えるのは、政府から認定された企業だけに限られており、各市に1社または数社に抑制されています。これら認定企業の設備や技術はまだ未熟であり、日本企業と提携することで、ノウハウや技術を得ようとする動き

が見られます。私の北京、大連訪問もこうしたことと関連してのことです。

先方が求めることは、①環境保全のための設備、技術の提供②中古部品及びリビルト部品の 大連市廃車回収分解有限公司 劉董事長 生産・在庫管理、流通ネットワーク構築③資源分別、回収の効率化、に大別できるかと思います。

とくに、従来はすべてスクラップとして処理しなければならなかったエンジン、ミッションなどの機能部品が、法改正によりリビルト部品として販売することが可能になったと聞き、部品のネットワーク構築はビジネスとしても可能性があると感じました。

中国での自動車リサイクル業は、まさしくこれからの産業であり、循環型社会の構築に大きく資する事業です。中国政府は「環境」について本腰を入れており、関連事業に対する予算も相当な金額を計上していると聞いています。中国サイドのこうした動きに対して、少しでも協力できればと考えています。



1月21日、近藤社長が「日頃会社のために頑張ってくれている女性社員を労いたい」とおっしゃって下さり、食事会を開催して頂くことになりました。
 お店はあの有名な、なべ・割烹「太郎」(お鍋)です!!



主計町の『太郎』です

総務部の山田です。会宝通信の広報コーナーや元気プロジェクトを担当させていただいております。今年もどんどん情報を発信していきたいと思っております。何かお気付きの点がございましたらお教え下さい。今後ともよろしく願いいたします!!

農業の取組み ~農業事業部より~

会宝産業のこれまでの農業への取り組みについて。

当社では自動車リサイクルの際に廃エンジンオイル等が年間9万リットル発生します。2009年にはこの廃油を有効活用する為に専用の廃油ヒーターを開発し、イチゴやニンニクの栽培を実施しました。この開発においては、明和工業様、上昇運輸様と連携し、新連携支援事業として中部経済産業局の認可を受けております。

2010年は宝達志水町にて農業参入し、農薬と化学肥料を使用せず有機肥料のみを使用した安心安全でかつ美味しい農産物の生産への取組みを本格化致しました。

耕作放棄地であった砂丘地を活用し、サツマイモや長芋、かぼちゃ、にんにく、タマネギ、その他のいろいろな野菜を栽培し、採れた野菜は社内外に販売をしております。

また、除草剤を使用しない水田においては、凄まじい雑草の勢いに圧倒されながらも何とか収穫にたどり着くことができました。昨年末は自社生産のもち米で、餅つきも行いました。無農薬有機栽培の餅の味は格別でした。農業への取り組みについては、金沢経済新聞様にも記事にして頂きました。(http://kanazawa.keizai.biz/headline/1165/)



改善提案の事例

～昨年の運用実績です～

皆様こんにちは。先月までこのコーナーは「経費削減の事例」というタイトルでしたが、今月から「改善提案の事例」に変更となりました。今までよりも幅広く事例をご紹介させていただきたいと考えております。

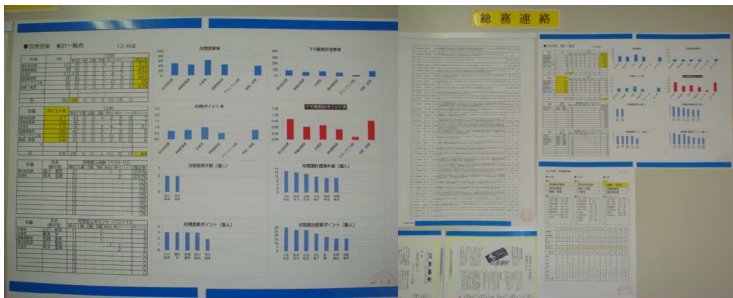
今回は昨年の運用状況をお伝えします。当社では以前から改善提案制度を運用していましたが、昨年は過去最高の294件の提案がありました。社員一人一人の発想力・提案力の向上と共に、社内での情報共有が相乗効果を生んでいるように感じています。



また改善提案を毎月提出していると、「考える」「書く」ということが苦手だった社員も、いつの間にか成長しているという効果もあります。

現在表彰制度を取り入れて、改善提案の件数と内容に応じて、個人もしくは部門単位で表彰を行っております。

今後も社員全員で楽しく続けながら、より中身の濃い提案を出せるように、切磋琢磨していきたいと考えております。会宝通信をご覧の皆さまからも何か良い事例がありましたら、ぜひ教えていただきたいと思います。



毎月の実績を貼りだして共有しています

今月のありがとう

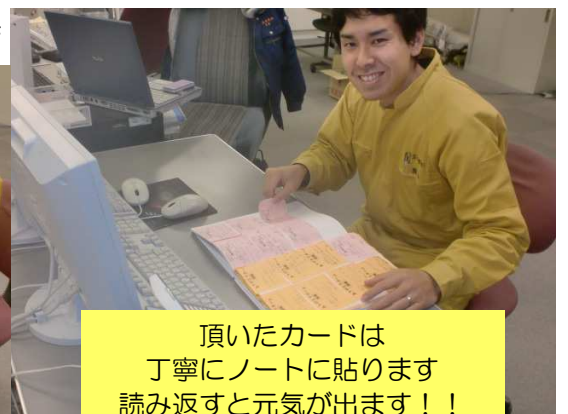
～周囲への感謝の気持ち～

皆様こんにちは、国内部品課フロントの鹿野です。

フロントの業務はお客様と電話での商談が主で、机から離れられない毎日です。また、現車や部品の確認を現場スタッフにお願いする事がとても多い業務です。現場スタッフからの報告をもとに、お客様に少しでも早く返答しなければという気持ちの焦りから、報告を受けた際に“ありがとう”の一言をうまく伝えられないこともあります。

そんな時にこの“ありがとうカード”を活用しています。口頭で伝えられなかった（伝え忘れた）気持ちをこのカードで表現する事が出来ます。毎日仕事を終える度に1日の出来事を思い返し、もう一度感謝の気持ちを相手に伝えることができます。

ありがとうカードを続けていると、本当に周りの方々に支えられているんだという事を感じます。仕事はもちろんですが、私生活においても周囲への感謝の気持ちを忘れずに励んでいこうと思います。



相場はどうなの? ~生産部より~

こんにちは。会宝産業の山口です。2011年が始まり、1ヶ月が経ちました。相場に関して言えば、1月はどの品目も若干ですが上向きだったのではないのでしょうか。

鉄は相変わらずジリジリ上がり、アルミに関して久しぶり（数ヶ月ぶり）にスクラップ相場が上向きに動きました。

銅相場も連日史上最高値を更新し続けているのが現状ですが、隣国の需要は旧正月という事も有り、芳しくないような状況になっており、ごく短期で見れば、今が“出し時”と言う方も多く見られます。相変わらず混沌とした市場の中で、一か八かで勝負するよりも堅実に今を見ていく事が重要な時期だと思えます。

1月度実績

入庫台数 716台

処理台数 840台

ありがとうございます



「元氣ライスプロジェクト」(写真1枚で参加できるボランティア活動)

「写真を送る」という行動を、起こしていただいた皆様に感謝です。今後も出来ることから、進めていきますのでよろしくお願い致します。

●進捗報告

2011年1月31日現在 1,381 SMILE (271日経過)



今月のおまけ

~MROラジオで放送中~

今年の1月3日からMROラジオ(1107kHz)で、夕方17時前の「ケンとアッコのトクナビラジオ」のコーナーで週3回(月・水・金)当社の宣伝をさせていただいております。ぜひお聞きください。

その中で話している「日本車の信頼度は抜群なんだ。会宝産業では海外65ヶ国に輸出しているから、高価買取が出来るんだよ」というフレーズについて、数名から2つの質問を受けましたのでこの場を借りてお答えします。

Q-1「なぜ日本車(の中古部品)の信頼度は抜群なのか?」

A-1 中古でも以下の5つの理由により、品質が大変良いからです。

- ①国土が狭い(廃車時に他国と比べて走行距離が少ない)
- ②インフラ整備(道路事情が他国と比べて良い)
- ③車検制度(定期的なメンテナンスが義務となっています)
- ④国民性(ものを大切に作る国民性)
- ⑤12メーカーの競争による自動車販売の高回転率(アメリカは3社)

Q-2「輸出をしているとなぜ高価買取が可能なのか?」

A-2 国内で必要とされなくても、海外で必要とされる部品が多くあるからです。国内であれば鉄などの「素材として再利用」される場合でも、海外では「部品として再利用」されるので高価買取が可能になります。ラジオを聞いてご質問ありましたら遠慮なく!!

会宝産業株式会社

〒920-0209
金沢市東蚊爪町1-25
車輛課(車輛引取り・査定)
電話 076-237-5133
FAX 076-237-1950
Email: info@kaiho.co.jp

〒920-0209
金沢市東蚊爪町1-23-3
部品課(部品注文/担当:大森・鹿野)
電話 076-237-5138
FAX 076-237-6090
Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。
<http://www.kaiho.co.jp/jp/>